

令和7年度入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。ご父母の皆さまにおかれましては、ご子息、ご令嬢のご入学を心よりお祝い申し上げます。また、ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、ご臨席を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

本学は、「愛情教育」を基本理念として、昭和六十二年に開設されました。以後、この理念のもと「一人ひとりの夢と個性を尊重し、ともに歩む教育」の実践に努め、現在は5学部と大学院2研究科を擁する総合大学に成長し、多くの学生がさまざまな領域の学問分野を学んでおります。

新入生の皆さんも、いよいよこれから、大学での勉強が始まります。それぞれの分野で高い専門性を有する教員たちが、皆さんを学問の世界にいざないます。どうか、学問の持つ奥深さや魅力を存分に味わっていただきたいと思います。もちろん、学問である以上、すぐに解答のでるわかりやすいものばかりではありません。難しい用語や概念に戸惑い、投げ出したくなることもあるかもしれません。しかし、心配することはありません。それは、私を含めて、過去の多くの大学生たちが経験してきたことです。気を長く持って学問と向かい合い、学び続けてください。答えのすぐには見つからない問題を、自分の頭で考え、解答を粘り強く探し出していく作業は、必ず皆さんの将来に生きてきます。

また、本学での学びは、学問のための学問にとどまるものではありません。それぞれの授業は、皆さんがこれから社会で生き抜いていくための基礎的な力、すなわち本学で言うところの「駿大社会人基礎力」を培うことを意識して組み立てられています。この「駿大社会人基礎力」の中には、コミュニケーション力、チームワーク力、問題解決力など、皆さんが社会で活躍する際に求められる実践的なさまざまな「力」が含まれています。本学には、少人数のゼミ、充実したキャリア教育、地域を舞台に展開するアウトキャンパス・スタディ、世界各地に用意された留学のための海外提携校など、多様な学びの舞台や仕組みが準備されています。どうか本学の用意した教育プログラムを存分に利用して、自分を磨き、社会人として必要とされる基礎的な力を身につけてください。

さらに「駿大社会人基礎力」を鍛える場は、授業の中だけではありません。運動部や文化系サークルでの活動、駿輝祭といわれる大学祭への参加、ボランティア活動への参加なども自分自身を鍛え、社会人となるための力を身につける上での格好の機会となるはずです。また、本学に集まる国籍や地域の異なる様々な人間との交流もたいせつな機会です。異なる文化、考え方、習慣をもつ人々の意見を尊重し、多様性を認めながら共通点を見つけ出し、課

題の解決策を探ることを学んでください。また、本を読む習慣を身につけることもたいせつです。読書は、視野を広げ、自分の頭でものごとを考え、整理する力を養いますが、これは社会で活躍するためにいつの時代でも求められる基礎的な力の一つとなります。本学自慢のメディアセンターをおおいに活用してください。

こうした大学での学びや生活の内容は、高校までとはずいぶん異なり、戸惑う人もいるかもしれません。何かあったらけっして一人で悩まずに本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してください。教職員一同、皆さんの成長を願い、全力でサポートいたします。

昔からよく学びよく遊べと言われます。勉強と遊びのバランスのとれた生活がたいせつだということです。疲れた時はゆっくりと休み、遊びと笑いのある楽しい時間をもつことが、ゆとりのある柔軟な物の見方や考え方につながります。若い皆さんは、一つの考え方や物の見方にとらわれることなく、やわらかい心でさまざまなものを吸収し、自分の力で咀嚼して身につけていってください。皆さんがこれから、おおいに学び、よく遊び、楽しい実り豊かな学生生活を送られることを願って、ご入学のお祝いの言葉といたします。

本日は、まことにおめでとうございます。

令和7年4月3日
駿河台大学 学長 大森一宏